

10月度 例会 山行報告書		報告者	小久保 (聡)	参加 メンバー	CL : 山田 (明) SL : 芦田 その他 計 58 名 (内ゲスト 40 名)
個人		報告日	10/14		
山 域	奥三河	山行日	2009 年 10 月 3 日 (土)		
山 名	宇連山				

山行目的	社内登山大会	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	--------	---------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図 :

10/3 晴れ
7:00 本社正門前発
7:53~8:05 東名高速・赤塚PAにて休憩
9:03 愛知県民の森・駐車場着
9:30 愛知県民の森・駐車場発
10:05~10:10 一本 (避難休憩小屋)
10:40~10:45 一本 (下石の滝付近)
10:57~11:05 一本 (滝尾根展望台)
11:20~11:25 一本
11:47~11:57 一本 (滝尾根分岐)
12:10~12:12 一本 (北尾根分岐)
12:25~12:30 一本
12:50 宇連山頂上着
13:45 宇連山頂上発
14:15~14:20 一本 (北尾根分岐)
15:30 モリトピア着 (川中・小久保聡)
16:15 モリトピア着 (第7グループ)
16:20 駐車場着
16:35 駐車場発
17:25~18:35 入浴 (本宮の湯)
19:40 本社正門前着

朝7:00本社正門前、吉川さんがチャーターしたバスで出発。ジュースが配られ、和気あいあいとした雰囲気の中、金子さんの挨拶及び山田(明)さんからの山行説明。各チームのCL&SL紹介が始まる。天野さん紹介時の「今が伸び盛りの若手ホープです」という表現に、失礼ながら皆爆笑。「登りは約3時間半です」の説明に、後方から「ウェー！」と聞こえたのは気のせいかな？ 出だし好調な中、7:53赤塚PAにて休憩の為立ち寄ったところで、更に重鎮・金子さんが笑いの引き金を引いた。「えー、集合時間は、私の時計で8時5分です」と他の部員から矢継ぎ早に突っ込みが入り「バスの時計で」と訂正される。休憩後約1時間で愛知県民の森に着。ここからは主に筆者が所属した第7グループでの報告になりますのでご了承ください。駐車場からしばらくは散歩ついでの人でも悠々と歩けるような広くて平坦な道が続く。避難休憩小屋付近で一本取った後は、徐々に山の中へ入っていく感じがした。水で濡れた石コロに気をつけながら小川を渡る。木々の間から下石の滝が現れ、不破さんが激しくジャッターを切る。川の向こうはいきよりの急登でギョッとしたが、美しい滝のおかげでしんどさも少し和らいだ。とりあえずの登りを終えると、まだ夏なのかと錯覚させる程の強い陽射しに出迎えられ、年頃のレディ達は皆顔を伏せて逃げ場を探していた。さらに10分程で滝尾根展望台着。このあたりから後方の中山さんグループ所属の子供達が「ヤッホー！」と叫び始める。なだらかではあるが登りが続き、当方で勧誘したゲストのレディー2名の具合が気になるも、楽しそうに登っているので安心した。筆者は最後尾の岸上CLとずっと会話をしてきたが、その内容はと言えば8割方W.I.S.H杉本さんについてであり、岸上CLがいかにか杉本さんを愛しているかが身に染みてわかってしまったのであった。12時前に到着した滝尾根分岐には「宇連山まで1.3km」の看板が立っていた。ここからは時折踏ん張りが必要な段差があつたりもついでつい目線が下に行きがちだったが、顔をあげるとスキの葉や、遠方には一部赤く染まった木が見えたりして秋を感じることができた。また、岸上CLが発した「山が折り重なっている」という詩的な表現も新人・川中&小久保の心を捉えた。後方からは「元気ですかー！」という子供達の叫びが何度も響き渡り、それに都度対応する金子さんがそのうち元気を失うのではないかと少々気がかりであった。にわかに豚汁の匂いがしたかと思うと、山頂到着(駐車場からの所要時間:3時間20分)。1時間弱の大休止の締めには、あの大人数が一枚の写真になんとか収まり、順番に下山を始めた。第7グループも時々尻もちをつきながらも無事に滝尾根分岐まで下りてきたが、ここで緊急事態発生。K中さんが急遽トイレに行きたいということになり、岸上CLと小久保が付き添い、グループから分離して先行下山。救急車の如く大急ぎで転がるように下りてきたが、意外に体力の消耗は少なく、楽であった。モリトピアという施設に着いたところで、岸上CLが「では僕は皆さんのところに戻りますので！」とカッコよくUターン。その後姿からはリーダーとしてのオーラがギンギンに出まくっていた。全てのグループが下山し、16:35県民の森を出発、本宮の湯にて入浴。バス車内ではレク係中山さんによるビンゴ大会とロープ結び競争(?)で盛り上がり、あっという間に刈谷着。後日談ですが、亀山さんと、筆者が勧誘したY本女史との間でまさかの登山靴入れ替わり事件が勃発。27.5cmと24.5cmの靴をお互い気付かず自宅まで持ち帰っていたらしい。最後の最後に面白ネタをありがとうございました。

確認
(リーダー)
09/10/13
山田
作成
(報告者)
小久保
09/10/09
保聡

〈リーダー所見〉
前日まで雨模様で、今年は雨の中での登山大会を覚悟しましたが、皆様の日頃の行いが良かったためか、当日は快晴で、怪我人も無く無事に終えることが出来ました。特に、今年は小学生以下の子供の参加がありましたが、先輩方のリードのお陰で、全行程を歩くことが出来ました。このことにより、子供も登山大会に参加出来るという、新たな可能性が得られたと考えます。入部希望者が7人もいらっしやるということで、今年も大きな成果が得られたと思います。

